



兵庫県立姫路東高等学校

令和7年11月20日発行

SSH
Super Science High school

SSH通信

R7-8(第59)号

令和7年度 兵庫県立姫路東高等学校 小中高連携事業

小中学生・高校生 探究活動合同発表会を実施しました！

10月23日（木）の午前中に姫路市立城乾中学校の体育館をお借りして、城乾中学校2年生、市立城乾小学校6年生、本校生徒が集まり、第1回探究活動合同発表会を行いました。昨年度から実施している発表会ですが、今年度は2回に分けて実施する予定です。その第1回目は、小中学生との探究活動を通した交流をメインテーマとして、本校からは33名の生徒が参加しました。

アイスブレイクでは、小中学生、高校生が同じグループになり、グループ内で誕生日の順番に並び替えたり、伝言ゲームをしたりしました。伝言ゲームは少し難しそうでしたが、緊張の糸も少しほどけた様子でした。



メインの探究活動のお題は「ストロータワー」です。ストロー30本、セロハンテープだけでより高いタワーを作ったグループが勝ちです。最初に作戦タイムを10分間とり、その後35分間でタワーを作りました。小学生、中学生、高校生が意見を出し合って、どうすれば高いストロータワーが作れるか、試行錯誤をしながら進めてきました。

セロハンテapeで床に固定したり、ストローで作った三角柱を積み上げたり、らせん状にストローをつないだり、どのグループも時間いっぱいまでチャレンジして、工夫を凝らしたタワーができあがりました。計測の結果、第1位は「2m35cm」のタワーを作ったグループでした。優勝グループのインタビューでは、「土台を広くすると安定することが分かりました」としっかり答えていました。



異年齢で同じテーマについて探究することで、普段とは違う発想にチャレンジすることができたようです。その方法が成功しなくとも、もう1回考え方直して、何度も挑戦することができました。どのグループも笑顔で楽しんで取り組んでいたのがとても印象的でした。

第2回は各校での探究活動の発表会を予定しています。



城乾小学校・姫路東高校 探究交流会を行いました！

城乾中学校での小中学生・高校生探究合同発表会を行った翌日の10月24日（金）の午後、姫路市立城乾小学校6年生50名が本校を訪れ、本校生徒33名と交流しました。

小学6年生が総合的な学習の時間で制作した、姫路のさまざまな魅力を題材にしたボードゲームを高校生と一緒に体験しました。姫路城のクイズが入ったすごろくや、姫路の名産品や観光地のカードゲームなど工夫をこらしたゲームがあり、どのグループも盛り上がってました。最後には高校生からコメントやアドバイスを行いました。年齢を超えて互いに高めあい、よりよい探究にしてほしいですね。



2年次理系クラス 科学倫理ディベートを行いました！

2年生の理系5クラスが、それぞれのお題に応じてディベートを行いました。

賛成派・反対派として調べた結果のもと、根拠をしっかりと提示しながら話し合いを行っていました。しっかりと調べたからこそ相手に説得力のある言葉で、熱くディベートを繰り広げている様子がとても印象的でした！



播磨探究ミーティングに参加しました！

本校の科学部2名が、「ひょうご教育の日」播磨西地域イベント事業の一環として開催された「はりにし探究 Meeting」に参加しました。研究でこれまで取り組んできた『植物の組織や器官にみられる規則的な配列はいつ決定されるのか』について発表を行いました。ミーティングには近隣の小学生から高校生までが世代を超えた交流で探究発表を行うことが出来ました。

